

「やまがたエコ図鑑」

県内のエコ情報が満載！ キーワードで検索できるサイト

◎「エコカップ やまがた」の取り組みとして、情報提供があった時点の内容と、その後の情報を掲載しています。

◎「やまがたエコ図鑑」の中で、「環境家計簿シミュレーション」による結果の閲覧が可能です。オリジナルのシミュレータによる推計で、個人の世帯、または団体構成員の「世帯」から排出される1人当たりの年間のCO₂推計値（団体の場合は構成員の平均値）を自動的に表示することができます。



<http://yamagata-ecozukan.eny.jp/>

◎「エコ活動+情報発信+各家庭のCO₂排出量チェック」で温暖化防止を進めましょう！

【協賛】

山形県環境保全協議会

活動事例発表会の実施にあたり、上記の団体から協賛をいただきました。協賛金等は、記念品等に使用させていただきました。ありがとうございました。



【実行委員会事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター (特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

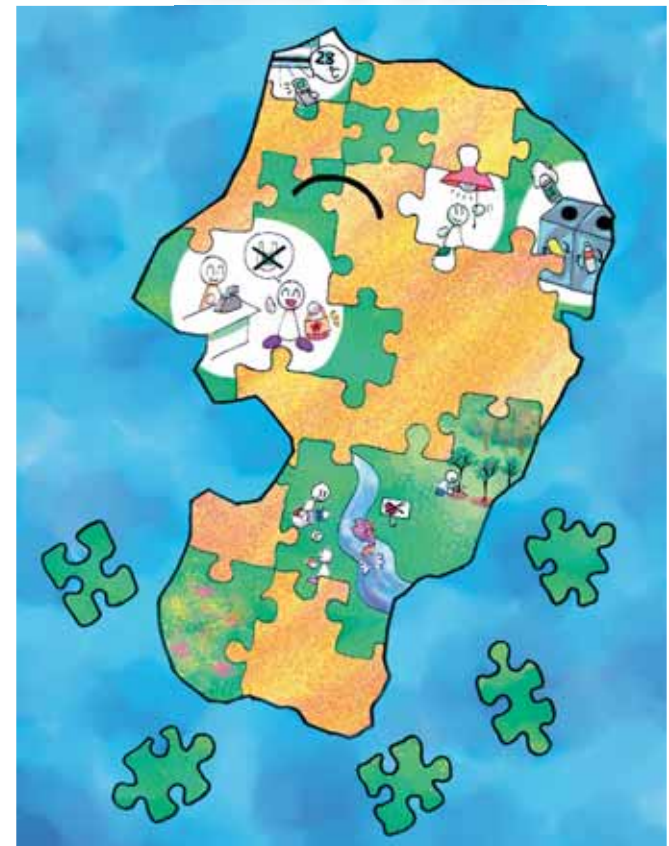
〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37
TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389
E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※本冊子は、環境省の補助事業で作成しました。（平成22年度 地球温暖化防止活動団体連携強化事業）
※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。
※各市町村等から情報提供があった取り組みについて、各活動団体や事務局で要約する等して掲載しています。

温暖化防止につながる県内の取り組みを紹介します

平成22年度 地球温暖化防止活動団体連携強化事業（環境省補助）

ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2010」 活動事例集



庄司萌梨絵さんの作品

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」について

温暖化対策の進展がますます急がれる状況の中、地球温暖化防止を推進するため、山形県内で温暖化防止につながる活動を行っている団体の事例をまとめ、本冊子や活動事例発表会等で広く情報発信し、地域レベルでの温暖化防止活動団体の連携を強化します。

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」

I N D E X

目次	2～3
実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	4
活動団体マップ	5
事例発表会の様子、コーディネーターの紹介	6～7
活動紹介	8～31

*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。

WEBサイト「やまがたエコ図鑑」の紹介、協賛団体の紹介	32
-----------------------------	----

【活動団体マップ】

	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
	「東根市は環境先進都市」	東根市	東根市	①	8
	古紙回収を通じての環境保護活動	港屋商事株式会社	河北町	②	9
新規	薪文化再生にむけた総合的な環境対策プロジェクト	最上町サスティナブルタウン推進協議会	最上町	③	10
新規	湯舟からあふれた温泉のみで冷暖房と給湯し、灯油をゼロ	鈴の宿 登府屋旅館	米沢市	④	11
新規	遊佐町小中学校フィフティ・フィフティ事業	遊佐町小中学校	遊佐町	⑤	12
新規	ボイラの天然ガス化に伴うCO ₂ 排出削減	株式会社 丸十大屋	山形市	⑥	13
新規	本店ビルと小白川支店に太陽光発電設置	JA山形市	山形市	⑦	13
	山工ECO活動から広がる「協働」と「人づくり」	山形県立山形工業高等学校	山形市	⑧	13
	七日町商店街BDF事業	七日町商店街振興組合	山形市	⑨	14
	「環境マイスター（自動車）」認知度向上における普及促進活動 ～ 地球にやさしいカーライフの提案 ～	社団法人日本自動車販売協会連合会山形県支部	山形市	⑩	14
	第4回「県内縦断エコドライブオリエンテーリング」の開催	特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター	山形市	⑪	14
	家電製品の省エネの使い方及びエコ商品普及	山形県電機商業組合青年部	山形市	⑫	15
	"CO ₂ 削減の為、エコ窓に変えよう"	山形県サッシ・ガラス協同組合	山形市	⑬	15
	CO ₂ 排出削減に大きな威力を発揮するベレットボイラー！	やまがた木質ベレット利用研究会	寒河江市	⑭	15
	クリスマスキャンドルナイト イン 上山城	財団法人上山城管理公社・上山市地球温暖化対策協議会	上市市	⑮	16
新規	BDF活用事業	社会福祉法人 走翔会 らんなあ事業所	上市市	⑯	16
	「おさがりボックス」の設置	上市市	上市市	⑰	16
新規	電気自動車の導入	村山市役所	村山市	⑱	17
新規	グリーン電力の地産地消	村山市役所	村山市	⑲	17
新規	エコアクション21の取り組み	村山市役所	村山市	⑳	17
新規	太陽光発電システム設置補助事業	村山市役所	村山市	㉑	18
新規	甌葉プラザでキャンドルナイト	甌葉プラザ市民委員会	村山市	㉒	18
新規	キャンドルナイトinひがしざわ ～ 電気を消して、スローな夜を ～	社団法人 村山青年会議所	村山市	㉓	18
	キャンドルナイト2010 in てんどう	天童市地球温暖化対策協議会	天童市	㉔	19
	MBH運動	東根市	東根市	㉕	19

	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
新規	サステナタウン・プロジェクト（バングラデシュ生徒派遣）～ 持続可能な町づくり ～	山形県立東根工業高等学校	東根市	㉖	19
新規	廃食用油燃料化事業	東根市二市一町共立衛生処理組合（クリーンピア共立）	東根市	㉗	20
	廃食油回収リサイクル事業	尾花沢市大石田町環境衛生事業組合・尾花沢市	尾花沢市	㉘	20
新規	住宅用太陽光発電システムへの補助	山辺町	山辺町	㉙	20
	ローソク作りとキャンドルナイト	河北町環境を考える会	河北町	㉚	21
新規	BDF事業	有限会社 西川清掃	西川町	㉛	21
	環境と経済が融合した持続可能な町づくり	かねやま新エネルギー実践研究会	金山町	㉜	21
新規	最上町すこやかプラザ太陽光発電設備設置に伴う普及啓発事業	最上町	最上町	㉝	22
新規	キノコ栽培施設への木質チップボイラーの導入	有限会社 舟形マッシュルーム	舟形町	㉞	22
	四ヶ村棚田ほたる火コンサートの開催（ペットボトルの再利用、廃油の活用）	四ヶ村棚田ほたる火コンサート実行委員会	大蔵村	㉟	22
新規	環境学習「地球温暖化とゴミ問題」	学校法人椎野学園 米沢中央高等学校	米沢市	㊱	23
新規	樹木に覆われた街づくり（屋敷森作業部会）	自然エネルギーを考える会	米沢市	㊲	23
	川西町フレンドリープラザ雪冷房システム	川西町役場	川西町	㊳	23
新規	住宅用太陽光発電設置補助事業	川西町役場	川西町	㊴	24
新規	木質バイオマスエネルギーの活用	小国町	小国町	㊵	24
新規	エコドライブ普及を中心としたエネルギー消費削減の取り組み	白鷹町美しい郷づくり推進会議	白鷹町	㊶	24
	「ひまわりを育てて、食と環境・未来を考えよう！」プロジェクト	ふるさと飯豊発見隊	飯豊町	㊷	25
新規	協定書締結によるレジ袋の削減に向けた取り組みの実施	飯豊町	飯豊町	㊸	25
新規	木質バイオマスの利活用による資源とエネルギーの地産地消	中津川バイオマス株式会社	飯豊町	㊹	25
	「環境フェアつるおか」における地球温暖化防止の取り組みとグリーンカーテンの普及	環境つるおか推進協議会	鶴岡市	㊺	26
	地域資源地域活用リサイクル事業	株式会社 渡会電気土木	鶴岡市	㊻	26
新規	環境に配慮したホテルづくり	ホテルリッチ&ガーデン酒田	酒田市	㊼	26
	酒田市住宅用太陽光発電システム普及事業	酒田市	酒田市	㊽	27
	BDF生成活用事業	酒田市	酒田市	㊾	27
新規	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	㊿	27
	風力発電事業	庄内町	庄内町	①	28
	庄内町小中学校省エネチャレンジ事業	庄内町	庄内町	②	28
	庄内町町民節電所事業	庄内町地球温暖化対策地域協議会	庄内町	③	28
	キャンドルナイトinしょうない	庄内町地球温暖化対策地域協議会	庄内町	④	29
	廃植物性食用油の集団回収（BDFのごみ収集車燃料利用）	三川町及び三川町衛生組織連合会	三川町	⑤	29
	協定書締結による「レジ袋無料配布の中止」運動	三川町及び町内商店	三川町	⑥	29
	住民参加型「空き缶回収処理システム」	三川町及び町内会	三川町	⑦	30
新規	資源ポストによる、資源リサイクルの推進	三川町及び三川町衛生組織連合会	三川町	⑧	30
新規	役場庁舎グリーンカーテン設置	三川町	三川町	⑨	30
新規	廃プラスチック卓上油化装置を活用した出前講座（エコ出前教室）	三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	⑩	31
新規	小中学校の廃食油を利用したせっけん作り（1中、6小）	JA庄内みどり女性部 せっけん研究会	遊佐町	⑪	31
新規	風力発電事業	遊佐町	遊佐町	⑫	31

※「新規」と記載されている取り組みは、今年度初めて「エコカップ やまがた」の冊子に掲載するものです。
「新規」以外の取り組みは、昨年度までの「エコ杯 やまがた」の冊子に掲載したことがあるものです。

御 礼

地球温暖化防止活動団体連携強化事業
(ストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」)実行委員会

委員長 佐藤 五郎



地球環境国際賞「ブループラネット賞」の顕彰事業を展開している旭硝子財団は、世界の有識者を対象に毎年アンケート調査を実施し、環境悪化に伴う人類存続の危機意識を「環境危機時計」で発表しています。それによれば調査開始の1992年は、「かなり不安」を意味する7時49分であったのが、2009年には9時22分まで進み多くの有識者が「極めて不安」であると考えていることが分かりました。その最大のものは地球温暖化であることは言うまでもありません。温暖化の進行によって深刻な水不足、生物種の絶滅、穀物生産の低下、感染症の増加、洪水と暴風雨などの異常気象、海水面の上昇などの諸現象が世界各地で大規模化します。しかし反面、温暖化は市民生活が深く関わっている現象にもかかわらず見えにくく気付きにくいのも事実です。したがって常日頃、温暖化防止に取り組んでおられる諸団体の活動を広く紹介するとともにお互いに情報交換をし、さらに連携へ向けた活動を押し進めることが温暖化防止への有効な手立てとなります。このような趣旨で環境省の補助のもと実施したのがストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」であります。

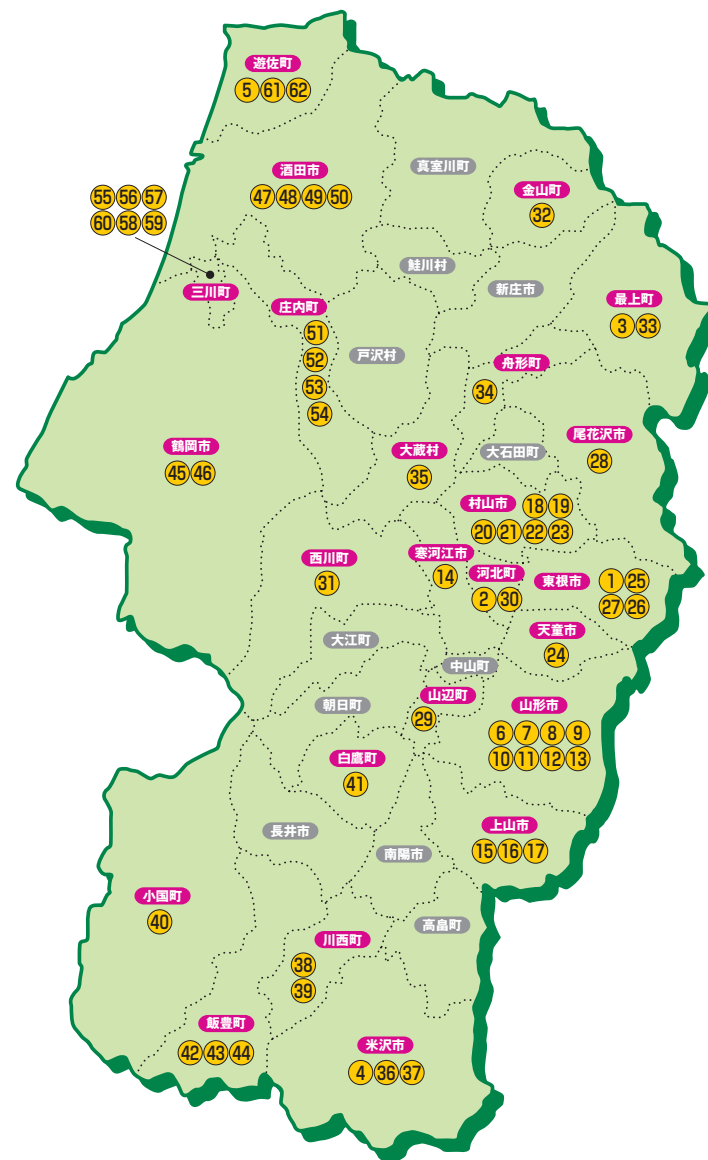
おかげさまで県内各地の様々な温暖化防止に向けた気付きを確認することができました。改めて皆様方の活動に敬意を表するとともに活動の継続と広がりを強く期待するものです。最後になりましたが、本事業を実施するに当たり多くの方々に多大な御支援御協力を賜りましたことに深く感謝申し上げますとともに今後ともご指導のほど宜しく願ひして御礼といたします。

【地球温暖化防止活動団体連携強化事業（ストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」）実行委員会】

＜委員長＞ 佐藤 五郎（学校法人椎野学園 米沢中央高等学校 副校長）
小谷 卓（鶴岡工業高等専門学校 物質工学科 教授）
桑嶋 誠一（株式会社山形新聞社 論説委員長）
沼野 慈（地域活動家・特定非営利活動法人 山形創造NPO支援ネットワーク 理事）
井上 元治（山形県 生活環境部地球温暖化対策課 課長）

活動団体マップ

～ どの市町村で活動しているのかな？ ～



※マップの番号と団体名は、「INDEX」に記載していますので、ご覧下さい。

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」

～ 地球温暖化防止活動の環をつなげ、つよめるフォーラム ～

地球温暖化防止の取組みの一層の強化がますます急がれる状況の中、地域における取組みを発表する「活動事例発表会」を開催いたしました。このフォーラム開催の目的は、地域における地球温暖化防止につながる取組みを広く一般に情報を発信し、また地域レベルでの温暖化防止活動団体の連携を強化し、温暖化防止活動の環を全県に広げることです。

平成22年10月2日(土)にビッグウイングで開催した「活動事例発表会」では、山形県立山形工業高等学校環境システム科の加藤智一先生のコーディネートのもと、県内で温暖化防止活動に関わる活動を行っている以下の5団体による事例発表と意見交換を行いました。

- 東根市 [東根市]
「東根市は環境先進都市」
- 港屋商事株式会社 [河北町]
「古紙回収を通じての環境保護活動」
- 最上町サスティナブルタウン推進協議会 [最上町]
**「薪文化再生にむけた
総合的な環境対策プロジェクト」**
- 鈴の宿 登府屋旅館 [米沢市]
**「湯舟からあふれた温泉のみで
冷暖房と給湯し、灯油をゼロ」**
- 遊佐町小中学校 [遊佐町]
「遊佐町小中学校フィフティ・フィフティ事業」

一般参加者からも発表者からも事例発表を聞いて参考になったという評価を頂くことができました。発表を行った5団体による事例のほかにも県内には様々な取組みがあります。センターでは、それらを本冊子やホームページの「やまがたエコ図鑑」などで紹介しています。

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2010」

～ 地球温暖化防止活動の環をつなげ、つよめるフォーラム ～

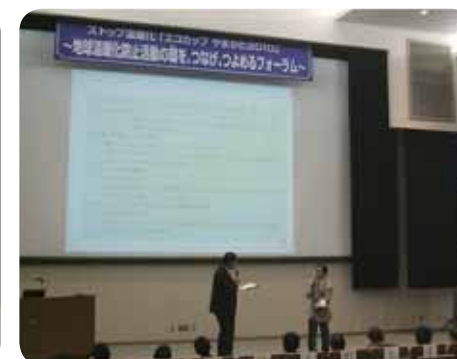


コーディネーター：
山形県立山形工業高等学校
環境システム科 教諭

加 藤 智 一 先生

低炭素社会の実現は、科学技術の進歩だけで達成されるものではありません。企業・行政そして私たち一人一人が、今までの行動を見直し、環境に配慮した行動を実践することが求められているのです。そうした一つ一つの取組みは、ただちに目に見える結果として表に表れないかもしれませんが、グローバルな問題として突きつけられた、差し迫った課題に、敢然と立ち向かう姿を眼にした時、私たちは人としての使命感や連帯感、そして未来への希望を感じることができるのです。

この度、温暖化防止につながる、先進的でありながら地道な努力の積み重ねであり、かつ独創的な活動事例をご紹介いただいた五つの団体には、今後の更なる活躍をご期待申し上げるとともに、私たちに前へ進む勇気を与えてくれたことに対し、改めて感謝申し上げます。



活動事例発表会

「東根市は環境先進都市」

東根市 [マップ番号:1]

☆学校版環境ISO「さくらんぼ環境ISO」

「さくらんぼ環境ISO」は、市内全小・中学校教育の一環として、環境保全活動に取り組んでいます。省エネ・省資源・リサイクルと学校や地域の特色を生かした独自の取り組みを児童・職員が一体となっていてしています。活動内容については、年1回「さくらんぼ環境ISO実践交流会」で発表しています。

☆地域版環境ISOモデル事業

この事業は、市内7地区においてモデル区を選出し、その区の各家庭で節電を行います。電力会社からの「電気使用量のお知らせ」で前年と今年の同月使用量を比較し、各区毎に集計します。節電の取り組みが上手にできた区を『環境週間ひがしね』のオープニングイベントで表彰します。

☆環境週間ひがしね

この事業は、市民が環境について考え、一人ひとりが環境を意識した行動・生活を実践していくことを目的に開催しています。家庭で取り組みを行った環境ファミリーの認定式や地域版環境ISOモデル事業の表彰式、企業による環境に関する取り組みの紹介、環境に関する講演会などを行っています。



古紙回収を通じての環境保護活動

港屋商事株式会社 [マップ番号:2]

古紙回収を通じての環境保護活動として、ガソリンスタンドに顧客が古新聞・古雑誌などの古紙をまとめて持ち込むとガソリンを値引きする取組みを平成20年から実施。

古紙はリサイクルのルートに乗せ、専門業者の買取で得た益金を活用し、平成21年には西村山・最上地区の全小学校へ環境に関する絵本を寄贈した。さらに、平成22年には河北町に電動スクーターを2台寄贈した。



新規

最上町

薪文化再生にむけた 総合的な環境対策プロジェクト

最上町サステナブルタウン推進協議会 [マップ番号:3]

私たちの暮らしのなかで豊富で身近な地域財である「森林資源」を、環境問題対策や産業振興、文化振興等の多面的な活用をはかるために、その切り口を『薪文化』に着目し、これを家庭や地域コミュニティレベルにおける“スローライフ”としての位置づけを図りながら、各種の調査・実験事業に取り組んでいます。

取り組み内容については、自然エネルギーの利活用や食の安全・安心、住宅環境の向上をテーマに、住民参加と産学官連携で組織する「最上町サステナブルタウン推進協議会」が実施主体となっています。

昨年度は、国の委託事業を受け、「薪のデリバリーシステム可能性調査」や「最上版エコ住宅の開発・普及」「ルーラルツーリズムの商品開発」等の事業を実施し、今後の活動を推進するうえで必要な基礎DATAの収集とプロジェクトの啓発を行いました。



新規

米沢市

湯舟からあふれた温泉のみで 冷暖房と給湯し、灯油をゼロ

鈴の宿 登府屋旅館 [マップ番号:4]

温泉旅館では、湯舟で温泉をかけ流しにしながら、ボイラー室では石油を燃料に冷暖房や給湯を行っています。これは、熱エネルギーの無駄使いです。

そこで、当館では、今年2月に東北で初めて排湯熱源式のヒートポンプを導入し、ボイラーを撤去しました。このヒートポンプは、湯舟からあふれた40度のお湯の熱を利用して、60度のお湯を作ることができます。また、冷暖房にも使えます。

動力は電気を使用するため、それまで使っていた年間約30トンの灯油は、ゼロになりました。電気の使用量は増えましたが、その差を差し引いても年間58tのCO₂削減になりました。これにより、当館では以前より40%のCO₂を減らすことができました。さらに、国内CO₂クレジット制度を活用し、減らしたCO₂を他の企業と取引します。

そして、もっと大きなCO₂削減につながるよう、宿泊施設や施工業者を対象にしたセミナーを開催、宿泊客向けの見学ツアーを行い、啓蒙活動を行っています。



新規

遊佐町

遊佐町小中学校 フィフティ・フィフティ事業

遊佐町小中学校 [マップ番号:5]

この事業は、もともとドイツで始まった「フィフティ・フィフティ」と呼ばれるプログラムで、小中学校において、児童・生徒や教職員が協力して省エネ活動を行い、節減できた光熱水費を町の財政に戻すのではなく、半分はその学校に還元するしくみです。

児童生徒自らが電気・水道の省エネ目標を設定し行動することで、学校における環境教育と地球温暖化防止に向けた省エネ活動の一層の推進を図ることを目的としています。

また、子供達の環境学習により、家庭における波及効果も期待されます。

(事業実施期間：平成22年度～平成24年度 今年度予算：50万円)

※写真は、遊佐中学校で自転車をこいで発電する実験



新規

山形市

ボイラの天然ガス化に伴うCO₂排出削減



株式会社 丸十大屋 [マップ番号:6]

当社の環境対策の一環として、工場で使用しているA重油焚ボイラ4基を全て天然ガス焚ボイラに更新した。その結果、煙、煤塵の発生もなくなり、CO₂排出量は26%以上削減することができた。合わせて、国内クレジットの承認も受けることができ、平成21年度は、81トンのCO₂を売却することが決まった。

新規

山形市

本店ビルと小白川支店に太陽光発電設置



JA山形市 [マップ番号:7]

JA山形市本店はビルの屋上に84ワットのソーラーパネル486枚設置、1時間当たり最大約40キロワットを発電する。年間では約35,000キロワットになり高所用の発電装置としては全国最大規模。小白川支店は12キロワットを発電し年間で約13,000キロワット。JA山形市は、環境問題への取り組みは、社会的責任(CSR)であり、組合員・地域住民の想いは同じとし、両店舗を「環境重視施設」として発信している。

山形市

山工ECO活動から広がる「協働」と「人づくり」



山形県立山形工業高等学校 [マップ番号:8]

廃食油から合成したBDFを活用し、ライトアップやエコブース展示などの啓発活動の他、キャンドルスケープでは、市内小学校から提供いただいた牛乳パックと廃食油を活用したキャンドル約600個を作成し、行政、地域と連携した活動を行いました。また、花笠まつりや植木市後の有志による清掃ボランティアも毎年実施しています。

山形市

七日町商店街BDF事業



七日町商店街振興組合 [マップ番号:9]

商店街から出るかつては産業廃棄物として捨てていた使用済てんぷら油を商品の運搬車両等に利用できるバイオディーゼル燃料にすることで、当商店街が進める7代先まで続く持続可能な地域づくりの実現に向けて取り組みを始めた。

現在商店街内飲食店はもちろん山形市内の多くの飲食店から使用済てんぷら油の提供を頂きながら、市長公用車や山形市ゴミ収集車にも給油されている。小規模作業所との連携で業務の一部の委託を始めた。

そして、ポイントカードや駐車券サービスにより、中心商店街の活性化に繋がる取り組みとなっている。

山形市

「環境マイスター(自動車)」認知度向上における普及促進活動～地球にやさしいカーライフの提案～」



社団法人日本自動車販売協会連合会山形県支部 [マップ番号:10]

県・県地球温暖化防止活動推進センター・環境市民・当支部による協働事業「環境マイスター」活動も6年目となります。昨年度は、本制度を「山形モデル」と称し同じ制度運営にて神奈川県支部では第一期生が誕生、また東京都支部では12月より取り組みを開始しました。

昨年来、エコカー補助金等、国や県からの支援もありエコカーへの代替えも加速度的に図られた事を受け、「環境マイスター」としてより一層の地球にやさしいカーライフの提案・エコドライブの普及などを展開できるよう継続した支援を行っております。

山形市

第4回「県内縦断エコドライブオリエンテーリング」の開催



特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター [マップ番号:11]

4回目の開催となる今回は長距離(山形～庄内)・短距離(米沢～新庄)を設定、合計164台・489名と多くの皆様よりご参加をいただき実施致しました。

今回コースについては、折返し地点での観光をメインとして「楽しく・学べる・ゆとりある休日」を目指し、県内各所において豊かな山形を肌で感じていただき、その豊かな自然を子ども達に残す為にも、私たちが簡単に取組める「環境保全活動＝エコドライブ」の普及推進活動に努めました。

山形市

家電製品の省エネの使い方及びエコ商品普及



山形県電機商業組合青年部 [マップ番号:12]

家電製品を通して省エネに通じる情報をお客様を訪問した時にPRをする。

出前講座で地域の方々にPRをする。

環境フェアー等に積極的に参加してPRを行なう。

毎年、環境マイスターの研修会を行なう。

今年度は、家庭の省エネ診断事業を、山形県地球温暖化防止活動推進センターと協力して実施する予定であり、家庭での温暖化防止の取組みを促していく。

山形市

"CO₂削減の為、エコ窓に変えよう"



山形県サッシ・ガラス協同組合 [マップ番号:13]

国で住宅版エコポイントを今年の12月まで延長しました。エコポイントは断熱窓が必須です。一般家庭で窓をエコ窓にすれば、おおよそ1260kgのCO₂削減が1年で出来ることがあまり知られていません。一昨年より環境マイスターの認証をいただき、チラシ配布及び説明と普及に努めております。

寒河江市

CO₂排出削減に大きな威力を発揮するペレットボイラー!



やまがた木質ペレット利用研究会 [マップ番号:14]

国内でハイレベルのCO₂の排出削減目標が設定されていますが、温暖化対策としてのCO₂排出権取引はいろいろな分野に波及しています。

農業用、施設用ペレットボイラー、家庭用ペレットストーブ利用者の組織化を進めながら、取引成立を目指しています。平成22年度のペレット出荷量実績は625 tなのでCO₂をおおよそ750 t削減したことになります。

上新規
上山市

クリスマスキャンドルナイト イン 上山城



財団法人上山城管理公社・

上山市地球温暖化対策協議会 [マップ番号:15]

上山市のシンボルでもある『上山城』を舞台に、使用済油や植物油を利用したエコキャンドルを、クリスマスイメージして配置し、入館者に地球温暖化防止を呼びかけるイベントです。

館内では家庭のエコアクションの登録を呼びかけたり、イベントにあわせて上山城も含めた複数の施設のライトダウンも行なわれました。

上新規
上山市

BDF活用事業



社会福祉法人 走翔会

らんなお事業所 [マップ番号:16]

本事業所では、年間約22トンのCO2排出量となるBDFの製造販売を行っている。原料となる廃食油は上山市と連携して、一般家庭と揚げ物店より回収している。

今後も、BDFを多くの人達に知ってもらうとともに、本事業所の車にも使用していく。

上新規
上山市

「おさがりボックス」の設置



上山市 [マップ番号:17]

市内の保育園等に「おさがりボックス」(コンテナボックス)を設置し、保護者及び児童から不要になった衣類を持ってきてもらい中に入れてもらっている。

集まった衣類は必要な保護者から自由に持ち帰ってもらい、一定期間経過しても残っているものは、市で回収し資源業者に売却している。

上新規
村山市

電気自動車の導入



村山市役所 [マップ番号:18]

村山市では、県内の市町村で初めて公用車に電気自動車を導入しました。(平成21年11月27日)

走行中、二酸化炭素を全く出さない電気自動車は、環境都市村山市の広告塔として、毎日、各市民センターへの巡回や環境学習等で活躍しています。

上新規
村山市

グリーン電力の地産地消



村山市役所 [マップ番号:19]

村山市域を中心とした工事支障木や果樹剪定枝などの木質バイオマス資源で、やまがたグリーンパワーが発電した電力を、市の公共施設で使用する電気の地産地消を実現しました。電気自動車の電力や学校の環境教育にも役立てています。

また、グリーン電力証書の購入も積極的におこなっています。

上新規
村山市

エコアクション21の取り組み



村山市役所 [マップ番号:20]

本庁舎、施設、小中学校など42箇所が、省エネルギーやリサイクルの推進、CO2の削減について、エコアクション21の認証を受けて、目標を掲げて取り組んでいます。

グリーンカーテンの設置や環境教育、美化活動など、各課業務でも環境配慮を行い、市民環境意識啓発にも力を入れています。

新規

村山市

太陽光発電システム設置補助事業



村山市役所 [マップ番号:21]

村山市では、太陽光発電の導入を支援するため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して補助金を交付しています。

補助金の額は、太陽電池の公称最大出力1kW当り2万円、補助上限は4kWで、最大補助額は8万円です。平成22年度は13件で60.77kW分補助しています。

新規

村山市

甌葉プラザでキャンドルナイト



甌葉プラザ市民委員会 [マップ番号:22]

市民待望の施設「甌葉プラザ」のオープンにあたり、市民主体のキャンドルナイトを実施しました。地球温暖化防止活動推進員による環境学習、指導のもと、市内の全小中学生が、廃食用油で作ったエコキャンドルに未来への夢や希望をのせ、大人から子どもたちへと灯を受け継ぎました。

今後も、市民委員会事業を開催する際は、環境への配慮を念頭に置き、活動を行っていきます。

新規

村山市

キャンドルナイト in ひがしざわ ～ 電気を消して、スローな夜を～



社団法人 村山青年会議所 [マップ番号:23]

昨夏、(社)村山青年会議所は村山市「東沢バラ公園」にてキャンドルナイトを開催いたしました。キャンドルは、当日来場者の方々に作成していただいたものと事前に市内の子ども達が作成したものを使用しました。エコについて考えていただきながら、ゆったりとした時間を楽しんで頂くことができました。

天童市

キャンドルナイト 2010 in てんどう



天童市地球温暖化対策協議会 [マップ番号:24]

環境問題への意識を高めてもらおうと、今年で4回目となるキャンドルナイトを開催した。「電気を消してスローな夜」を合言葉に、お寺等から集めた廃ろうそくを使って4200個のキャンドルを作製し、天童駅前広場を中心に設置した。幻想的な光の中訪れた人達は足を止め環境について考えていた。

東根市

MBH運動



東根市 [マップ番号:25]

地球温暖化防止に向けて、できることから始める環境への取り組みとしてMBH(マイバッグ・マイ箸持参)運動を全市を挙げて行っています。マイバッグ持参運動は、市内9店舗でレジ袋の有料化を実施しています。マイバッグ持参率は90%を超えている状況です。

また、ひがしねマイ箸クラブ登録制度、レジ袋削減推進店舗登録制度を設け、市商工会と協力して運動を広げています。

新規

東根市

サステナタウン・プロジェクト(バングラデシュ生徒派遣)～持続可能な町づくり～



山形県立東根工業高等学校 [マップ番号:26]

本校では、手作り太陽光発電を核とした「サステナタウン・プロジェクト～持続可能な町作り～」を2010年から行っている。その取り組みをNPO法人アロアシャ・プロジェクトと協働で行い、バングラデシュでの環境保全活動に生徒が参加している。この活動により地球規模でのCO2削減につながることを期待している。

新規

東根市

廃食用油燃料化事業



東根市二市一町共立衛生処理組合
(クリーンピア共立) [マップ番号:27]

クリーンピア共立では、家庭で不要となった廃食用油を収集処理し、軽油の代替え燃料となるBDFを製造し、組合で使用し尿収集車と連絡車に全量利用しています。この収集からBDF使用までの工程をCO2排出量に換算すると、平成21年度は約235tのCO2を削減したことになります。

新規

尾花沢市

廃食油回収リサイクル事業



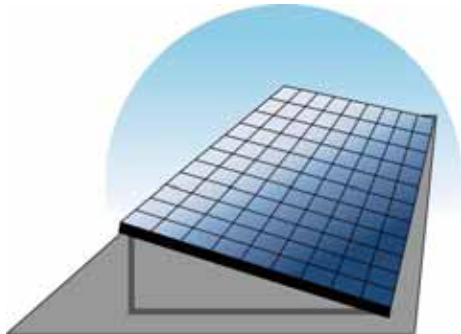
尾花沢市大石田町環境衛生事業
組合・尾花沢市 [マップ番号:28]

循環型社会の形成が求められていることから管内で排出される一般廃棄物の減量化を推し進めるべく、一般家庭から排出される廃食用油を回収しBDFとして有効活用を図っております。

新規

山辺町

住宅用太陽光発電システムへの補助



山辺町 [マップ番号:29]

山辺町では、地球温暖化防止対策として、クリーンエネルギーである太陽光を利用した住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して3万円/kW(4kW上限)を助成し、環境に配慮した町づくりに努めております。

新規

河北町

ローソク作りとキャンドルナイト



河北町環境を考える会 [マップ番号:30]

昨年12月、第13回目になる「100万人のキャンドルナイトin河北」を実施しました。使用するローソクも、試行錯誤しながらリサイクルで手作りしています。環境ミニセミナーとアコースティック音楽を聴きながらスローな夜を過ごし、地球の未来と大事なものは何かを考えるきっかけになればと願っています。

新規

西川町

BDF事業



有限会社 西川清掃 [マップ番号:31]

西川町は、山形市など6市6町の水源「寒河江ダム(月山湖)」がある町で、きれいな水を供給する責任を担っており、ゴミ収集・運搬業の傍ら、町内の飲食店や家庭等から廃食用油を収集し、BDFを精製。町の公用車や町営バス、自社の作業車へ使用し環境保全活動に貢献しています。

新規

金山町

環境と経済が融合した持続可能な町づくり



かねやま新エネルギー
実践研究会 [マップ番号:32]

一般家庭・学級給食センターの廃食油からBDFを精製し、幼稚園の送迎バスに利用しています。なお、毎年、約3千リットルのBDFを製造し、約8トンのCO2削減に貢献しています。また、菜の花プロジェクトや、学校での環境学習も実施しています。

新規

最上町

最上町すこやかプラザ太陽光発電設備設置に伴う普及啓発事業



最上町 [マップ番号:33]

新しく整備された、すこやかプラザ（保育所・幼稚園・子育て支援センター機能を含む）の電源に、太陽光発電設備（30kW）を導入し、その規模等の内容を記載したパンフレットを施設に置き環境教育、普及啓発を行う。あわせて、家庭でできる温暖化対策のチラシも一緒にし啓蒙活動を行う。

新規

舟形町

キノコ栽培施設への木質チップボイラーの導入



有限会社 舟形マッシュルーム [マップ番号:34]

当社は、キノコ栽培施設に木質チップボイラー（出力500kW）を導入しました。この木質チップボイラーの導入により、H22年3月、国内クレジット制度の排出削減承認を得ており、CO₂の排出量を企業等と取引することも可能となりました。また、CO₂排出削減量は、359t/年になります。

大蔵村

四ヶ村棚田ほたる火コンサートの開催（ペットボトルの再利用、廃油の活用）

四ヶ村棚田ほたる火コンサート
実行委員会 [マップ番号:35]

地区の家庭から廃棄されるペットボトルを収集し、その中にろうそくを灯した「ほたる火」1200本で棚田を照らし、その幻想的な会場でコンサートを開催。地元の小学生が給食で出た廃油を利用して作製したキャンドル60個が通路を照らし、2010年度は約1300人の方が来場した。

新規

米沢市

環境学習「地球温暖化とゴミ問題」



学校法人椎野学園 米沢中央高等学校 [マップ番号:36]

全校生徒の家庭を対象に、夏休み一ヶ月間に排出される二酸化炭素量を調査することで地球温暖化防止とゴミ問題に向けた生活改善を促している。すでに13年の継続調査であるが一人当たりのCO₂排出量は、その時の天候に左右され1カ月147~177kgを変動している。提出された保護者の感想文から、多くの家族に具体的な改善点を気付かせている。

新規

米沢市

樹木に覆われた街づくり（屋敷森作業部会）



自然エネルギーを考える会 [マップ番号:37]

樹木に覆われた街をつくる。モデルとして①山形大学工学部グラウンドを囲んで木陰が憩いの場に、あるいは学生・市民の散歩道になるようなメタセコイヤ並木づくり、と②老齢化が進み限界状態にある神社林に手を加え、子供たちの歓声が上がり、花の咲き誇る街の公園を目指しての整備に取り組んでいます。

川西町

川西町フレンドリープラザ雪冷房システム



川西町役場 [マップ番号:38]

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって“やっかいもの”であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14トンのCO₂排出を削減しています。

新規

川西町

住宅用太陽光発電設置補助事業



川西町役場 [マップ番号:39]

町では地球温暖化対策の一環として、新エネルギーの導入を積極的に進めるために、平成22年度から太陽光発電設置費用の補助制度を設けました。

対象は、町内の住宅等に新規に設置するもので、補助額は、1kWあたり30,000円(4kW上限)です。平成22年度の交付決定実績は、23件になります。

新規

小国町

木質バイオマスエネルギーの活用



小国町 [マップ番号:40]

小国町では、重油ボイラーを熱源として温水を造成し、役場庁舎の暖房、役場駐車場や一部町道歩道の消雪のため利用してきました。このシステムにおいて、平成20年度、本町の豊富な森林資源を活用できる「木質チップボイラー」を整備しています。化石燃料から木質資源へと熱源の転換を図るとともに、国全体の温室効果ガスの排出量削減に資する国内クレジット制度へ参画しています。

新規

白鷹町

エコドライブ普及を中心としたエネルギー消費量削減の取り組み



白鷹町美しい郷づくり推進会議 [マップ番号:41]

白鷹町では自動車保有台数が多いことから、エコドライブを普及しようということで、今年度、普及員を養成しました。今後は、町民を対象に講習会を開催し普及していきます。そのほか、小中学生に呼び掛けて、家庭から出る廃食用油の回収をしたり、公民館などからの依頼に応じて省エネの出前講座も行っています。

飯豊町

「ひまわりを育てて、食と環境・未来を考えよう!」プロジェクト



ふるさと飯豊発見隊 [マップ番号:42]

ひまわりの栽培を通して、花があふれる明るいまちにするとともに、ひまわりの種から搾油した油と市販食用油との天ぷら食べくらべや廃食用油を使ったエコキャンドルづくりを実施。中学生の総合学習でひまわり栽培に取り組むなど、環境と地産地消、「食」への関心を高める活動を展開中。

写真は、飯豊町立飯豊中学校の総合学習の取り組み。

新規

飯豊町

協定書締結によるレジ袋の削減に向けた取り組みの実施



飯豊町 [マップ番号:43]

「私たちの身近なところから地球環境に配慮した取り組みを始めよう!」と、レジ袋削減推進協力店会、町衛生組合連合会、町消費生活研究会、商工会、町が地球温暖化防止、資源・エネルギーの使用量の抑制及び廃棄物の減量を目指し協定を締結。マイバックの利用と貸し出し用マイバックを設置、減量を目指す。

新規

飯豊町

木質バイオマスの利活用による資源とエネルギーの地産地消



中津川バイオマス株式会社 [マップ番号:44]

H21年11月に稼働した木質バイオマス製造施設には、木質ペレットの生産設備、おが粉製造設備があり、未利用の木質バイオマスを燃料化するだけでなく、きのこの菌床栽培など新たな産業と雇用にも寄与している。自然・ひと・暮らしをつなげる「循環型エネルギー」のまちを目指す。

鶴岡市

「環境フェアつるおか」における地球温暖化防止の取り組みとグリーンカーテンの普及



環境つるおか推進協議会 [マップ番号: 45]

平成11年から開催している環境フェアでは、環境絵画の展示、マイバッグづくり等体験コーナー、企業の活動・環境にやさしい商品の展示などを実施しており、市民の環境への意識向上に貢献している。

また、ゴーヤの種と植栽用ネット(廃漁網をリユース)を無料配布、栽培講習会を実施するとともにコンテストを開催し、グリーンカー

テンの普及を図っている。

平成22年度は、種の配布世帯は昨年の95件から224件に増加した。また、コンテストの応募対象を種の配布世帯のみから、市民あるいは市内所在の企業・団体等に拡大している。

鶴岡市

地域資源地域活用リサイクル事業



株式会社 渡会電気土木 [マップ番号: 46]

当社は、黒松の間伐材等を木質ペレット燃料として地域エネルギー源に、また伐根付着土を利用した臭いのしない各種プランター用土及び田畑の土壌改良材に、木質ペレットを利用した農業ハウス用ペレットストーブの開発販売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と環境に優しい事業展開を押し進めております。

又、環境学習等の現場見学として工場見学も受け入れております。

新規

酒田市

環境に配慮したホテルづくり



ホテルリッチ&ガーデン酒田 [マップ番号: 47]

ごみのリサイクル推進により、3年間でゴミの処分量を半分に減らすことができました。また全客室のシャワーヘッドを節水型にすることで10%の削減に成功しました。生ゴミは微生物の力で水にまで分解して排水する機械を導入し、レストランでは地元農家と連携した地産地消の取り組みを進めています。

2009年5月国際的エコラベル「グリーンキー」取得。

酒田市

酒田市住宅用太陽光発電システム普及事業



酒田市 [マップ番号: 48]

平成21年度より地球環境の保全に寄与するため、太陽光発電システムを設置する方に補助金を交付しています。補助額は、太陽電池の出力1kW当たり3万円(前年度2万円)、最大補助額は12万円(前年度8万円)です。補助実績は、21年度が50件、22年度が46件(未確定分含む。)でした。

酒田市

BDF生成活用事業



酒田市 [マップ番号: 49]

地球温暖化防止と資源循環型社会の実現を目指し、これまで「もやすごみ」として処理していた家庭の廃食用油を分別収集し、BDF(バイオディーゼル燃料)を生成しています。平成21年度は約2万リットル生成し、ごみ収集車など14台に使用し、二酸化炭素と経費の削減に繋がっています。

新規

酒田市

緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: 50]

平成20年度から省エネ・地球温暖化対策として市の施設に緑のカーテンを設置しています。今年度は、市民の皆さんや事業所の方からも取り組んでいただくためにゴーヤの苗約3,000株と育て方の手引を無料で配布しました。また、コンテストを開催し18点の応募があり、4点を優秀賞として表彰しました。

庄内町

風力発電事業



庄内町 [マップ番号:51]

庄内町では、環境にやさしい取り組みとして、風力発電事業を平成5年から行っている。現在、町には、町営の100kW風車3基と1500kW風車1基、民間の1500kW風車1基、第三セクターの600kW風車4基と400kW風車2基の合計11基の風車がある。

庄内町

庄内町小中学校省エネチャレンジ事業



庄内町 [マップ番号:52]

庄内町の全小中学校では、各学校で、「庄内町小中学校省エネチャレンジ事業」に取り組んでいる。この事業は、各学校で省エネ活動に取り組んでもらい、夏(7～9月)と冬(11月～1月)の期間の電気・水道の省エネ結果によって、児童会・生徒会に、結果毎に区分された報奨金を支出し、児童会・生徒会活動の一部に充ててもらっている。

庄内町

庄内町町民節電所事業



庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:53]

庄内町では、平成15年度から庄内町町民節電事業として、庄内町在住、在勤者から参加世帯を募集し各世帯で省エネ(節電)にチャレンジしていただき、電気の検針票から各世帯の省エネ効果を取りまとめ、各世帯の成績によって、抽選で町内で使用できる商品券や温泉宿泊券などを配布している。参加者が楽しみながら省エネに取り組めるように心がけている。

今年度より節電所キャラクターを作成し、普及啓発に努めている。

庄内町

キャンドルナイトinしょうない



庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:54]

庄内町地球温暖化地域協議会が主催し、「庄内町町民節電所事業」と地球温暖化防止活動のPRを兼ねて、二俣農村公園ほたるの里を会場に、蛍が飛ぶ時期に合わせて、夕涼みがてら、家の明かりを消して、ほたるの里まで足を運び、キャンドルと蛍の幻想的な雰囲気の中、野外音楽鑑賞や蛍鑑賞を楽しむ企画。

三川町

廃植物性食用油の集団回収(BDFのごみ収集車燃料利用)



三川町及び三川町衛生組織連合会 [マップ番号:55]

全町内会に回収ボックスを設置し、毎月1回事業者による廃食用油の回収を行っている。回収された廃食用油はBDFに精製され、町ではそのBDFを購入してごみ収集車を運行することで、リサイクルシステムの確立とごみ減量化、地球温暖化防止を図るものです。

三川町

協定書締結による「レジ袋無料配布の中止」運動



三川町及び町内商店 [マップ番号:56]

ごみ排出量の削減と地球温暖化防止を目的に三川町、各種団体並びに事業者が協働し「レジ袋の大幅な削減に向けた取組みに関する協定書」を締結し、平成20年10月1日から協定を締結した店舗においてレジ袋の無料配布を行わないこととした。

三川町

住民参加型「空き缶回収処理システム」



三川町及び町内会 [マップ番号:57]

町内会に設置した回収ボックスに各家庭から排出された空き缶を投入し、事業者が回収を行っている。

平成22年度に、全町内会への設置を完了した。ごみの減量化とリサイクルの推進を図る一方で、売却益は町内会の収入となり、町内会単位での温暖化防止に関する啓発事業にも役立てられている。

新規

三川町

資源ポストによる、資源リサイクルの推進



三川町及び三川町衛生組織連合会 [マップ番号:58]

毎週日曜日の午前中に資源ポストを開設し、これまでは粗大ごみとして処理していた廃家電や自転車、衣類等を回収している。

既設の古紙、びん、かんを対象とした資源リサイクルステーションと併せて、より一層の資源リサイクルの推進を図るものである。

新規

三川町

役場庁舎グリーンカーテン設置



三川町 [マップ番号:59]

町民に対する地球温暖化防止の啓発と役場庁舎のCO2排出量削減のため、庁舎南側壁面にゴーヤーによるグリーンカーテンを設置した。

定植から栽培管理、収穫まで、全て職員によるボランティアで実施し、収穫したゴーヤーは来庁者へ無料配布し好評を得た。

新規

三川町

廃プラスチック卓上油化装置を活用した出前講座(エコ出前教室)



三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:60]

町所有の廃プラスチック卓上油化装置を活用し、ペットボトルキャップの油化の実演を行っている。

小学校を対象とした環境教育の他、町内外の各種イベントにも出展し、プラスチック製品が化石燃料から作られていることを確認してもらいながら、ごみの分別とリサイクルの重要性を説明している。

新規

遊佐町

小中学校の廃食油を利用したせっけん作り(1中、6小)



JA庄内みどり女性部 せっけん研究会 [マップ番号:61]

平成5年から粉せっけんと固型せっけんを作っている。

廃食油を年間600ℓ回収し、1800kgのせっけんを製造している。

環境汚染問題と資源の再利用を考えて、廃食油を原料にして作った粉せっけんです。石けんは微生物のエサとなって分解されるので水を汚しません。きれいな水と健康のために、石けんを使いましょう。

新規

遊佐町

風力発電事業



遊佐町 [マップ番号:62]

遊佐町では、2010年に民間企業が7基の風力発電の売電事業をスタートさせました。

2011年には、遊佐町海岸に町と民間企業と共同申請し、もう1基建設されます。

この8基で約4,500万kWh/年発電し、遊佐町で使用する電力の半分以上をまかなうことが出来、エネルギーの地産地消が進んでいます。